

<胃癌組織における腫瘍浸潤免疫細胞に関する研究>

1. 研究の対象

阪大消化器外科関連施設において2008年1月1日より2010年12月31日までに根治的手術外科切除された進行胃癌の患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

胃癌切除症例の検体を用い、免疫染色法による腫瘍浸潤免疫細胞（CD3, CD8, CD45RO など）および他のバイオマーカー（免疫チェックポイント分子やミスマッチ修復遺伝子など）の発現割合を解析します。これらの因子について、その関連性および、予後と関連する因子を検討することを目的とします。研究期間は、当院の倫理審査委員会による承認を得られてから2023年10月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査データ等

試料：切除された検体のパラフィンブロック

4. 外部への試料・情報の提供

手術で摘出した組織の病理組織切片を大阪大学医学部で検査します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪大学（土岐祐一郎）、大阪国際がんセンター（大森健）、日本生命病院（生島裕文）、市立貝塚病院（高山治）、兵庫県立西宮病院（岡田一幸）、関西労災病院（益澤徹）、市立東大阪医療センター（松山仁）、市立豊中病院（今村博司）、第二大阪警察病院（文正浩）、市立吹田市民病院（矢野雅彦）、市立池田病院（高地耕）、大阪警察病院（岸健太郎）、八尾市立病院（田村茂行）、大阪急性期・総合医療センター（藤谷和正）、大阪労災病院（赤丸祐介）、堺市立総合医療センター（西川和宏）、国立病院機構大阪医療センター（平尾素宏）、箕面市立病院（岡義雄）、市立伊丹病院（福永浩紀）、大手前病院（谷口英治）、済生会千里病院（谷口博一）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

大阪国際がんセンター消化器外科 副部長 大森 健

〒541-8567 大阪府中央区大手前 3-1-69

TEL：06-6945-1181

研究事務局責任者：

大阪大学消化器外科 助教 西塔拓郎

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2-E2

TEL:06-6879-3251 FAX:06-6879-3259

研究代表者：

大阪大学消化器外科 教授 土岐祐一郎

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2-E2

TEL:06-6879-3251 FAX:06-6879-3259